

## ～上司への提言～ 職場を明るくするのは『あなた』です

上司には組織をまとめ上げて組織目標を達成するというミッション(使命)があります。

そのために、もともと上司にはパワーが与えられています。この大きなパワーを「間違っ  
て使わない」ことが大切です。使う方向がズレても、使い過ぎてもダメなのです。

当然、悪意があったり、無視したりすることは論外です。部下に対してはきちんと“愛情を持  
って指導する”ことが必要です。自分の感情を部下にぶつけて「怒る」のではなく、部下の弱点を  
注意して「叱る」というスタンスが適切です。

部下に掛ける言葉にも注意が必要でしょう。もともと言葉には温度があり、相手に「適  
温」で渡すことが大切です。冷たすぎても、熱すぎてもダメなのです。意地悪な気持ちで言葉  
を投げつけるのではなく、「言葉はプレゼント」だと考え、きちんと“言葉を渡す”ことを心がける  
上司は素敵な上司です。

このような話はうるさく感じる向きもあるかと思いますが、安全配慮義務がある中でパワハ  
ラによる部下のメンタルヘルス不調発生や、日本における異常な自殺者数を考えれば、日頃  
から上司としての言動に気を配るのも当然のことではないでしょうか。また、上司として当たり  
前の義務をきちんと果たしていれば、パワハラと言われまいかと委縮する必要もないのです。

上司としての醍醐味は、何といっても部下が成長して一皮むける瞬間に立ち会い、その成  
長ぶりを部下とともに実感することではないでしょうか。デキる上司のあなたにとって目標と  
するのは、「部下から信頼され、慕われる上司」です。部下に恵まれないと嘆くよりも、部下を  
育成して、ぜひ部下にリスペクトされる上司になるように頑張ってください。そうすれば、職場  
の雰囲気も格段に良くなり、きっと活気のある明るい職場が実現することでしょう。

2012年9月 東京人権啓発企業連絡会 啓発委員会